

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和2年度)

評価分科会	総務文教分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	1	市役所本庁舎耐震改修事業(耐震対策)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

- ・別棟は耐震性能が不足したまま、補強せずに使用している。今後の対応が疑問である。

対象事業	No.	事務事業名
	2	市役所本庁舎耐震改修事業(老朽化対策)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	3	市役所本庁舎耐震改修事業(防災対策)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	4	FM波によるJ-ALERT(全国瞬時警報システム)情報伝達事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・今後しっかりと維持管理
- ・緊急時における情報発信の基盤は構築された。維持管理を適正に行い、効力が発揮できるように。
- ・J-ALERTの防災ラジオ起動装置と既存放送設備とが連動した。今後、適切な管理体制の強化と災害時の情報発信手段の更なる多様化が求められる。

その他特記事項

- ・現状維持

対象事業	No.	事務事業名
	5	埴生分団庫整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	6	地域おこし協力隊募集事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・一部署で考えず全庁的な議論を行うべきである。
- ・将来のビジョンは何かなど、もう少し広範にわたった取組が必要である。
- ・コストを拡大して地域おこしに協力していく人を一人でも多く増やしていくべきである。

その他特記事項

- ・市全体の魅力アップが必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	7	埴生小・中学校整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	8	埴生小学校グラウンド法面整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・着実に工事を完了させることが求められる。
- ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定解除による安全安心な暮らしの実現に寄与することが求められる。
- ・近くの住民に危害がおよぶ可能性があるため、慎重に整備事業を進めるべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	9	シティセールス推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・より積極的な取り組みをするために予算を拡大すべきである。
- ・現状をもっと具体的にリサーチし、効果的に取り組むべきである。
- ・事業の効果が交流人口の増加及び移住定住促進につながるよう努力すべきである。

その他特記事項

- ・活動指標と成果指標のすみわけや指標の新たな設定など、見直しが必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	10	シティセールスPR強化事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・より積極的な取り組みをするために予算を拡大すべきである。
- ・更なるPRが必要である。
- ・現状をもっと具体的にリサーチし、効果的に取り組むべきである。
- ・事業の効果が交流人口の増加及び移住定住促進につながるよう努力すべきである。
- ・ポスターやデジタルサイネージの掲載場所を増やしていくべきである。

その他特記事項

- ・活動指標と成果指標のすみわけや指標の新たな設定など、見直しが必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	11	観光プロモーション事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・紙媒体の特性を活かし、工夫をこらすべきである。
- ・本市の認知度向上と誘客につながるような取組をすべきである。

その他特記事項

- ・観光プロモーション動画をもっと有効活用して、広く目にとまるようにすべきである。
- ・アフターコロナを見据えた活動を展開すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	12	県央連携事業(広域プロモーション等)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	13	県央連携事業(山口ゆめ回廊博覧会市主体事業)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	14	学校給食費公会計導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項

- ・公平な公会計を運営する。
- ・教職員の負担軽減と当該会計の透明性の向上に期待する。
- ・滞納整理が負担となるが、体制を整えて対応されたい。
- ・着実な事業実施を望む。

対象事業	No.	事務事業名
	15	RPA及びAI-OCR導入・活用事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RPA化によって大幅な業務の削減を達成できたので、積極的に推進すべきである。</li> <li>・定型業務の自動化・省力化により事務処理の効率化に期待する。</li> <li>・正確で効率的な運用をすべきである。</li> </ul>
--

<p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、必要な業務改善である。</li> </ul>
--

対象事業	No.	事務事業名
	16	帳票類アウトソーシング事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p>
------------------

<p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業の効率化により経費削減や市民サービスの向上が図られるので、委託可能な事業を増やし、そのための経費も拡大すべきである。</li> <li>・更なる効率化・スリム化に向け業者と調整し継続すべきである。</li> <li>・事務処理の効率化・スリム化・ヒューマンエラーの防止、更なる市民サービスの向上に寄与することを期待する。</li> <li>・市民サービスが向上するように事業推進を望む。</li> <li>・地元業者のできる仕事を見つけてほしい。</li> </ul>
---

対象事業	No.	事務事業名
	17	GIGAスクール端末整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項

- ・国県市と連携し良い事例をたくさん取り込み、単に一人一台端末を入れたではなく、本市独自の進化に期待する。
- ・GIGAスクール構想の実現に向けた対応に期待する。
- ・始まったばかりで、10年先にチェックしたい。

対象事業	No.	事務事業名
	18	GIGAスクール家庭学習推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項

- ・新しい教育体制に積極的に取り組むべきである。
- ・国県市と連携し良い事例をたくさん取り込み、単に一人一台端末を入れたではなく、本市独自の進化に期待する。
- ・GIGAスクール構想の実現に向けた対応に期待する。
- ・始まったばかりで、10年先にチェックしたい。

対象事業	No.	事務事業名
	19	社会保障生計調査事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和2年度事業完了

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	20	子育て総合支援センター管理・運営事業(子育て総合支援センター事業)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・市民に非常に喜ばれている施設であるため今後も更に頑張ってほしい。
- ・コロナ禍で大変なご苦勞であろうと思うが、必要な事業である。
- ・子育て支援のため、これからも継続して運営が必要である。

その他特記事項

- ・感染予防及び安全対策を十分に実施されたい。

対象事業	No.	事務事業名
	21	山陽地区公立保育所整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度事業完了

その他特記事項

- ・保育園の環境改善、運営の効率化を図るべきである。
- ・3園を統廃合し140名定員だが、民業を圧迫しない程度に増員を図るべきである。豪雨災害時の対策は日常的に計画訓練をするべきである。隣地にアパートが増加しつつあるので騒音対策を図るべきである。
- ・送迎車の違法駐車が増加しないように取り組むべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	22	公立保育所事故防止推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・センサー付とワイヤレスナースコールシステムの導入を検討されたい。

その他特記事項

- ・更なる事故防止に努めてほしい。

対象事業	No.	事務事業名
	23	放課後児童対策事業(放課後児童クラブ)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・朝、夕の延長保育も必要になるため、拡充すべきである。
- ・6年生までの受入を早期に求めるためにも事業の拡充を図るべきである。(各教室間の格差是正)

その他特記事項

- ・教室が狭隘なため、事故発生、学習意欲低下等が見られ、更にコロナ3密状況下にある。指導員の定着率向上(労働意欲)は賃金アップを取るべきである。
- ・待機児童をなくすことが必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	24	子ども医療費助成拡充事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・子育て世代の経済的負担を軽減するための施策は必要である。
- ・将来的に所得制限の撤廃を実現すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	25	発育・発達事業(療養教室)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・講師の話だけで早期発見、早期療育とは限らないので、しっかり医療機関と連携し、相談できる体制が急務である。
- ・適切な機関につながった割合が高まるよう取り組むべきである。

その他特記事項

- ・延べ参加幼児数を活動指標から外してもよいと思われる。

対象事業	No.	事務事業名
	26	妊婦健康診査事業(歯科健診)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・今後は未受診者に向けての啓発が大切である。
- ・委託機関数を増やす等本制度をさらに推進する必要がある。

その他特記事項

- ・歯周病は妊婦になる前から発病する可能性があるため、普段の検診が必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	27	若者健康診査

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・他の制度で受診の機会のない市民に対して、健康づくり、疾病の早期発見につながる事業である。
- ・受診者数の増加に向けて更なる情報提供をすべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	28	定期予防接種事業(ロタワクチン)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和2年度から始まった事業であるが、接種率が高いことは評価できる。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	29	成年後見制度利用促進体制整備推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・必要な制度であり、利用しやすい環境づくりが必要である。
- ・体制の整備に引き続き取り組むべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	30	空家等の適正管理の補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・不良空家の増大傾向もあり、周知・宣伝にさらに工夫し拡充すべきである。
- ・補助申請が更に増えるよう取り組むべきである。

その他特記事項

- ・解体業者の見直しをすべきである。
- ・銀行や郵便局等、金融機関にも宣伝物を置いてはどうか。

対象事業	No.	事務事業名
	31	証明書コンビニ交付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・マイナンバーカードの普及により利用がまだまだ増えるので拡充すべきである。  
 ・スーパーマーケットでのキヨスク端末設置を進めていただきたい。

その他特記事項  
 ・マイナンバーカードの拡大との相乗効果が期待できなければ、コンビニでの利用拡大が出来ないため、更にカードの普及が望まれる。

評価分科会	産業建設分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	32	ハザードマップ整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・近年、全国で頻発している豪雨災害等に対し市民の避難行動の準備や避難方法の周知を徹底する為には、必要かつ妥当な措置である。

その他特記事項  
 ・ハザードマップを利用した防災に対する知識の普及が必要である。  
 ・令和4年度までの計画も前倒しを検討すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	33	公園内老朽化施設等撤去事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・市内の老朽化施設の計画的な撤去は必要である。交流人口を増加させるためにもできるだけ早くすべきである。

その他特記事項

- ・計画的に撤去していく必要がある。

対象事業	No.	事務事業名
	34	本山岬公園(くぐり岩)整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・交流人口受入れの核である観光スポットであることから、整備は急ぐ必要がある。同時にくぐり岩の維持についての協議も重要である。

その他特記事項

- ・交流人口受入れの核である観光スポットであることから、整備は急ぐ必要がある。同時にくぐり岩の維持についての協議も重要である。

対象事業	No.	事務事業名
	35	スマイルエイジングパーク事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・健康寿命延伸のための事業として理解できる。今後予定されている公園での設置完了後も他公園に広げていくべきである。

その他特記事項

- ・今後、利用状況の確認、アンケート調査も必要と思われる。

対象事業	No.	事務事業名
	36	用途地域見直し事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和2年度事業完了

その他特記事項

- ・時代の変化等対応するため、10年単位の対応に固定せず、柔軟性を持つことも必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	37	交通系ICカード導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止	○			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・費用対効果からの検討も重要だが、市民の利便性向上から対象事業所への導入の働きかけを継続すべきである。

その他特記事項

- ・高額な開発費や維持費の負担等が導入の際の大きな支障になっているようですが、市からの補助率の見直し、公共交通利用者を増やしていく施策に力を入れていくことが重要である。

対象事業	No.	事務事業名
	38	ガラスのブランド化推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・本市の重要な事業として推進すべきである。計画通り進んでいると理解できる。

その他特記事項

- ・ブランド化による地域経済の活性化、雇用の創出、交流人口の増加が期待されるが、市民にどのようなメリットがあり、本市がどのように変わっていくのかが具体的に伝わっていない。
- ・ガラス文化に対して市民がどのようなことを望んでいるかの実態をきちんと把握していくことが重要である。

対象事業	No.	事務事業名			
	39	農業振興地域整備計画事業			

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和2年度事業完了

その他特記事項

- ・高齢化により後継者不足が顕著である。他の事業との関連も含め、随時の調査が必要である。

対象事業	No.	事務事業名			
	40	農地利用最適化推進事業			

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を図り、農地の集積率の向上を目指すために必要な事業である。

その他特記事項

- ・農地利用最適化推進委員や農業委員の負担軽減や後任者の育成について重点的に考慮していくことが重要である。

対象事業	No.	事務事業名
	41	山陽小野田市立山口東京理科大学運営費交付金事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費交付金は、公立大学法人の持続的な運営を確保するために必要である。</li> <li>・自律的・効率的な法人運営が行えるよう交付算定を実施するべきである。</li> <li>・算定基準に基づく適正な管理運営の継続が必要である。</li> <li>・公立大学法人の持続的な運営を確保するため、運営費を交付することは当然であるが、少子化の中、大学に対しても学生数の確保に向けた努力を求めていることが重要である。</li> <li>・学生の定数確保に努め、効率的な法人運営に努めて欲しい。</li> <li>・法人運営に必要である。</li> <li>・将来にわたって運営が可能となるよう、適切な運営費交付金を支給(交付)していく必要がある。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費交付金は、自律的、効率的な法人運営に資することができるように算定する。</li> <li>・必要最小限の条例は把握しておくこと。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	42	山陽小野田市立山口東京理科大学授業料等減免補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的支援が必要な学生に対して、修学支援法に基づく授業料等の減免に要する費用の支弁は必要である。</li> <li>・法に則り実施するべきである</li> <li>・算定基準に基づく適正な管理運営の継続が必要である。</li> <li>・低所得世帯の学生への授業料等の就学支援は大学として当然の措置であり、市がその費用の全額を支弁するに当たり大学との十分な情報交換、状況把握に努めることが重要である。</li> <li>・就学支援法による学生の支援を行うことは必要な事である。</li> <li>・減免に要する費用として必要である。</li> <li>・学生が安心して勉学に励むことができるように、減免の拡充が必要。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在学を希望する学生に対する修学支援のため、継続していく必要がある。</li> <li>・公立大学法人との定期的な情報交換による授業料等減免状況の把握が必要である。</li> </ul>